

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2019年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第7回講義

建築・地域・環境デザインの系譜・課題・方向  
-50年後のふるさと創りをめざして-

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事  
鈴木 大隆 氏

## 鈴木先生からのメッセージ

環境・資源、高齢・少子問題、集中・過疎、災害発生など、私たちの国そして地方は様々な課題を抱えています。しかし、過去の日本がそうであったように、様々な問題への対応から、新たなチャンスも生まれる可能性もあります。

講義では建築・都市・地域そして環境デザインの観点から、ものづくりや政策・制度検討、そして東日本大震災からの復興にかかわってきた経験、事例を紹介し、今後、地域が目指すべき方向を一緒に考えていきたいと思っております。

日時：  
2019年5月24日  
金曜日  
5講目 16:30-18:00

場所：  
工学研究院  
オープンホール  
[B-201]

鈴木 大隆先生

昭和59年室蘭工業大学修士課程修了。  
平成10年東京大学大学院論文博士(工学)取得。  
昭和59年室蘭工業大学助手。北海道立寒地住宅都市研究所 研究職員・科長、北海道立北方建築総合研究所(改組により改称)主任研究員、国土交通省 政務三役政策審議室 政策参与(兼務)、北海道立総合研究機構 建築研究本部長、北方建築総合研究所 所長(兼務)を経験され、平成31年4月より現職。

担当:工学系教育研究センター 矢久保考介教授  
内線:7163 Mail: ceed-ind@eng.hokudai.ac.jp